

東京藝術大学 音楽学部 音楽総合研究センター

シモン・ゴールドベルク文庫

利用案内



東京藝術大学上野キャンパス

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

2号館 2階 2-2-11号室

Tel. 050-5525-2379 (音楽総合研究センター) Fax. 03-5685-7801

Homepage: <http://onken.geidai.ac.jp/guide/collection/Goldberg>

E-Mail: szymon.goldberg.archive@ml.geidai.ac.jp

2020年度版

■ゴールドベルク文庫について

音楽総合研究センターの音楽文庫室は、ゴールドベルク山根美代子氏の遺志を引き継いだご遺族より寄贈された、20世紀稀代のヴァイオリニスト シモン・ゴールドベルク Szymon Goldberg (1909-1993) の遺品約 6,500 点を所蔵しています。晩年、彼が身近に置いていたこれらの品は、世界的に活躍したゴールドベルクの音楽活動の現場を彷彿させるものであり、貴重なコレクションとなっています。

■主な所蔵資料

- 図書 約 1,900 点 (音楽、美術、文学、語学、歴史など)
 - 音響資料 約 600 点 (LP・CD・SP・DVD・Cassette・VHS など)
 - 楽譜 約 900 点
 - プログラム 約 500 点
 - 新聞雑誌記事 約 500 点
- その他、写真、書簡、メモ、タイプ文書、置物など多岐に渡ります。

ゴールドベルク自身の 書き込み例

(J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番)

文庫番号 [SGME1/B118/1(c)]

S. Goldberg
Sonata I
BWV 1001
Adagio
Violino
1

Ehrenreiter-Ausgabe 5116 © 1999 by Ehrenreiter-Verlag, Kassel

楽譜資料の中心は、J. S. バッハ、ハイドン、ベートーヴェン、シューベルト、20 世紀の作曲家の作品で、その中にはゴールドベルク自身による書き込みがある楽譜も多数あり、彼の作品や演奏に関する解釈を垣間見ることができます。

■資料の利用

● 検索

- 音楽総合センターのホームページ>資料検索>ゴールドベルク文庫データベースで資料を検索します。キーワードはなるべく欧文で入力して下さい。
- 「人名設定」をクリックすると、人名設定画面に切り替わります。人名はカタカナでも検索可能です。
- 検索結果画面の ★ をクリックすると、詳細情報を見ることができます。
- 楽譜資料のうち「中身を見る」ボタンが表示されているものは、中身を見ることができます。
- 録音資料、プログラムなどのうち「所収曲目」ボタンが表示されているものは、曲目詳細を確認できます。

● 閲覧・視聴

- 当文庫にお越しの際は、事前に E メールで予約をお願いします。
- 書籍は当文庫内で閲覧して下さい。
- 楽譜は当文庫内のパソコンで閲覧して下さい。(著作権の関係でホームページでは一部しか見られない楽譜も、文庫内のパソコンでは全部を閲覧できます。)
- 視聴覚資料は音楽総合研究センター1階の機器で視聴して下さい。
- 文庫資料の利用はセンター内に限り、センター外への持ち出しはできません。
- 原則として貸し出し、コピーサービスはありません。
- 資料の撮影、録音、録画はできません。

■ゴールドベルク略歴

- 1909年 ポーランドのヴォツワヴェックに生まれる。
- 1918年 ベルリンにて名教師カール・フレッシュに師事。
- 1925年 エーリヒ・クライバーの要請によりドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターに史上最年少で就任。
- 1929年 ヴィルヘルム・フルトヴェングラーの指名を受け、史上最年少（19歳）でベルリン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターに就任。
- 1936年 初来日。近衛秀麿指揮、中央交響楽団と共演。
- 1938年 カーネギー・ホールにてアメリカデビューを果たす。
- 1942年 演奏旅行中にジャワ島で日本軍の捕虜となる。
- 1955年 オランダ政府の要請により、オランダ室内管弦楽団を結成。
- 1966年 2度目の来日。大阪国際フェスティバル出演。
- 1987年 3度目の来日。桐朋学園においてオーケストラを指導。翌年からほぼ毎年特別講座を開設。
- 1988年 ピアニスト山根美代子（2004年～2006年東京藝術大学音楽学部客員教授）と結婚。
- 1990年 この年以降、毎年新日本フィルハーモニー交響楽団の指揮を執る。
- 1992年 新日本フィルハーモニー交響楽団指揮者に就任。日本に居を移す。
- 1993年 富山にて永眠。